

特集 令和5年度垂水市施政方針



令和5年5月、第2回垂水市議会定例会において、尾脇市長が令和5年度の施政方針を発表しました。

施政方針とは、垂水市がどのような考えや方針でまちづくりを進めていくかということとを、毎年市議会定例会で発表するものです。今年度は、1月に市長選挙が行われたため、第2回垂水市議会定例会で発表しました。

今月号の特集では、令和5年度施政方針の中から、垂水市の目指す未来や今後の取り組みを紹介します。

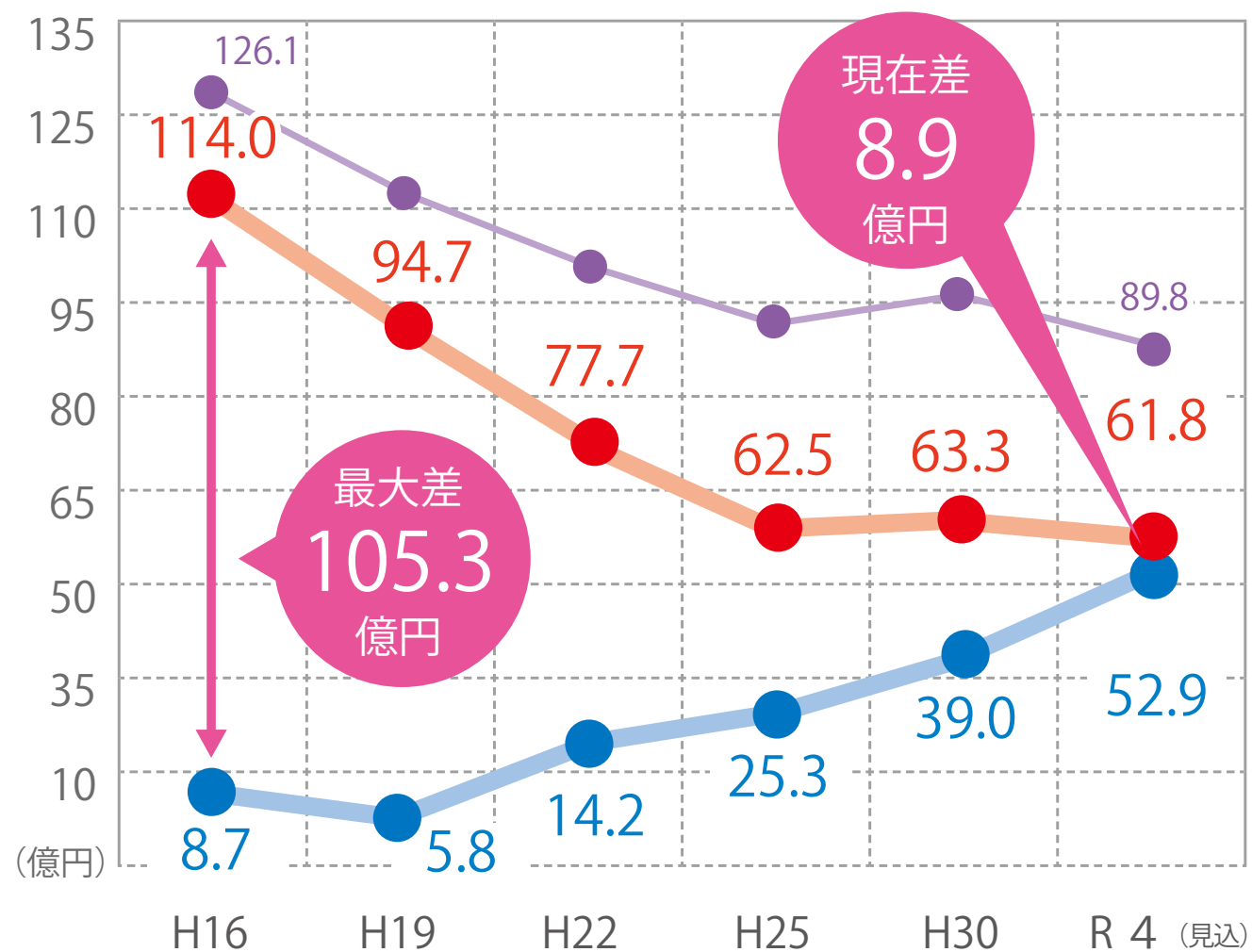
次のページでは、令和5年度の予算の考え方と垂水市の財政状況を説明いたします。どうぞ、ご覧ください。



市の財政状況、貯金と借金のこれまで

下記のグラフは、垂水市の財政状況（借金・貯金）を表したものです。貯金は徐々に増加しており、借金は徐々に減少しているため、財政状況は改善傾向にあると言えます。主な要因は、ふるさと納税の増額、垂水市市有施設整備基金の設置、管理および処分に関する条例の制定、人件費の削減、財政改革プログラムによる事務事業の見直し等があげられます。

しかしながら、本市の財政状況は、地方交付税をはじめとする依存財源の割合が大きく、国の状況で財政運営が左右される脆弱な財政構造から脱していないため、今後も弾力的で足腰の強い財政構造を構築し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。



※臨時財政対策債は、本来交付されるべき地方交付税の振替として発行されるもので、元利償還金は100%交付税措置されることとなっている。

- 市債
- 借金 臨時財政対策債を除く市債
- 貯金 財政調整基金やふるさと応援基金などの各基金の合計

H16年とR4年を比較

96.4 億円
改善

平成 16 年 105.3 億円
— 令和 3 年 8.9 億円



予算編成の考え方

本年度一般会計当初予算につきましては、義務的経費および経常的経費を中心とした骨格予算として編成いたしました。先の垂水市長選挙終了後に各担当課と議論を重ね、政策的な予算の編成作業を進め、令和5年度一般会計補正予算案という形で提案させていただきました。

補正予算の規模につきましては、歳入歳出それぞれ5億2,530万3千円を追加し、予算総額は、118億8,663万9千円になりました。令和4年度当初予算額との比較では3億6,463万円程度の増額となっております。

歳出に要する歳入財源につきましては、それぞれの補助事業に対して交付される国県支出金、また、道路改良事業などに充てる市債を計上しております。

これらの特定財源を充て不足する部分につきましては、財政調整基金などを充てて収支の均衡を図っています。



予算規模

総予算規模 ※一般会計に特別会計、事業会計を加えた総額

185 億 8,491 万 7 千円

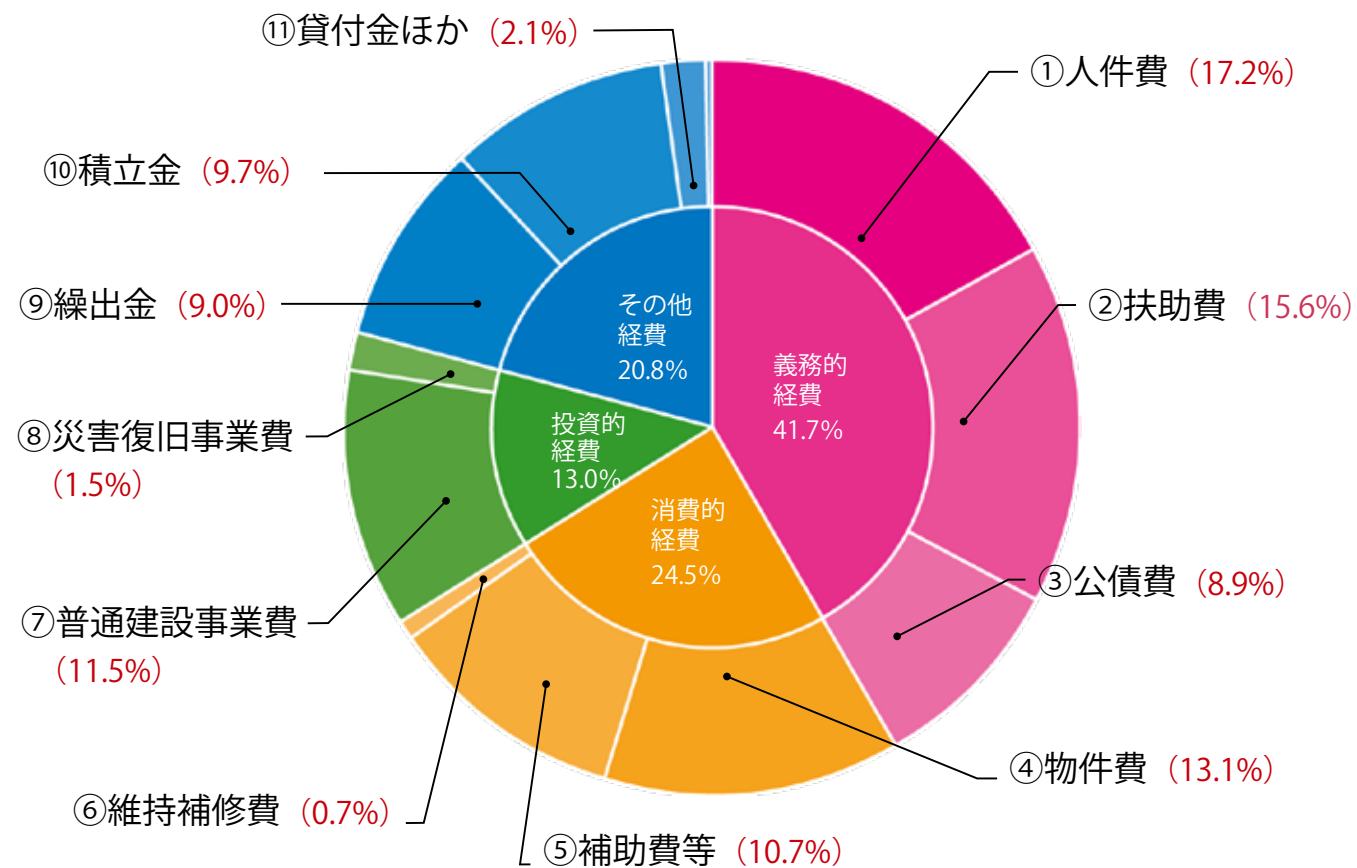
◎内訳

会計名		令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率
一般会計	当初予算	113 億 4,200 万円	115 億 2,200 万円	▲ 1 億 8,000 万円	▲ 1.6%
	補正予算第1号専決	1,933 万 6 千円	—	—	—
	補正予算第2号	5 億 2,530 万 3 千円	—	—	—
	小計	118 億 8,663 万 9 千円	115 億 2,200 万円	3 億 6,463 万 9 千円	3.2%
特別会計	国民健康保険特別会計	23 億 8,974 万 7 千円	24 億 3,816 万 5 千円	▲ 4,841 万 8 千円	▲ 2.0%
	後期高齢者医療特別会計	2 億 6,652 万 6 千円	2 億 6,265 万 7 千円	386 万 9 千円	1.5%
	交通災害共済特別会計	484 万 6 千円	494 万 2 千円	▲ 9 万 6 千円	▲ 1.9%
	介護保険特別会計	23 億 327 万 9 千円	22 億 8,349 万円	1,978 万 9 千円	0.9%
	老人保健施設特別会計	6 億 4,928 万 8 千円	6 億 5,290 万 1 千円	▲ 361 万 3 千円	▲ 0.6%
	漁業集落排水処理施設特別会計	4,031 万 4 千円	4,063 万 5 千円	▲ 32 万 1 千円	▲ 0.8%
	地方卸売市場特別会計	261 万 7 千円	278 万 4 千円	▲ 16 万 7 千円	▲ 6%
	簡易水道事業特別会計	令和5年度から水道事業に統合	5,643 万 6 千円	—	皆減
事業会計	小計	56 億 5,661 万 7 千円	57 億 4,201 万円	▲ 8,539 万 3 千円	▲ 1.5%
	水道事業会計	4 億 6,264 万 3 千円	4 億 1,508 万 5 千円	4,755 万 8 千円	11.5%
	病院事業会計	5 億 7,901 万 8 千円	5 億 2,731 万 2 千円	5,170 万 6 千円	9.8%
合計		185 億 8,491 万 7 千円	182 億 640 万 7 千円	3 億 7,851 万円	2.1%



一般会計

歳出 118 億 8,663 万 9 千円



- ※義務的経費 支出が義務付けられている経費
- ※消費的経費 形を残さない性質の経費
- ※投資的経費 公共事業費や国・県等の公共事業の負担額

義務的経費 49 億 6,687 万 8 千円 (41.7%)		
① 人件費	20 億 4,976 万円	17.2%
市の職員の給与と退職金の費用、共済費		
② 扶助費	18 億 5,440 万 7 千円	15.6%
社会保障制度に基づく経費など		
③ 公債費	10 億 6,271 万 1 千円	8.9%
市債元金の償還と利子の支払いに必要な経費		

投資的経費 15 億 4,447 万円 (13.0%)		
⑦ 普通建設事業費	13 億 6,611 万 7 千円	11.5%
道路の新設や小中学校の改築などの費用		
⑧ 災害復旧事業費	1 億 7,835 万 3 千円	1.5%
災害がおきた際に原状復帰のために用いる費用など		

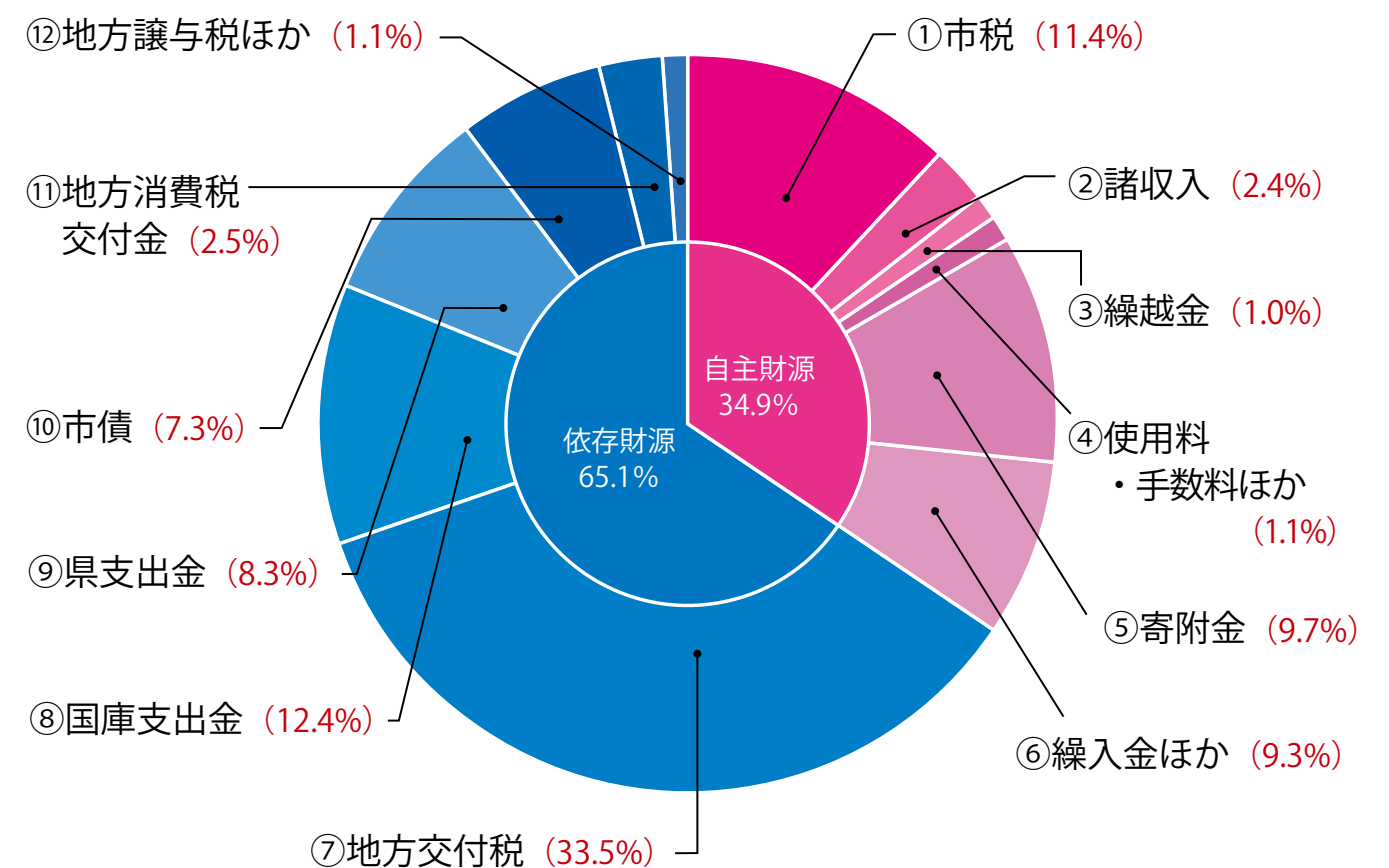
消費的経費 29 億 690 万 4 千円 (24.5%)		
④ 物件費	15 億 2,291 万 7 千円	13.1%
人件費・扶助費を除く、消費的な費用		
⑤ 補助費等	12 億 7,330 万 8 千円	10.7%
団体等を補助するために交付する費用など		
⑥ 維持補修費	8,067 万 9 千円	0.7%
公用施設等を維持する費用		

その他経費 24 億 6,838 万 7 千円 (20.8%)		
⑨ 繰出金	10 億 6,423 万 2 千円	9.0%
一般会計から特別会計等へ支出される費用など		
⑩ 積立金	11 億 5,315 万 5 千円	9.7%
基金等に積み立てるための費用		
⑪ 出資・貸付金	2 億 5,100 万円	2.1%
水産・畜産振興資金の貸付金など		



一般会計

歳入 118 億 8,663 万 9 千円



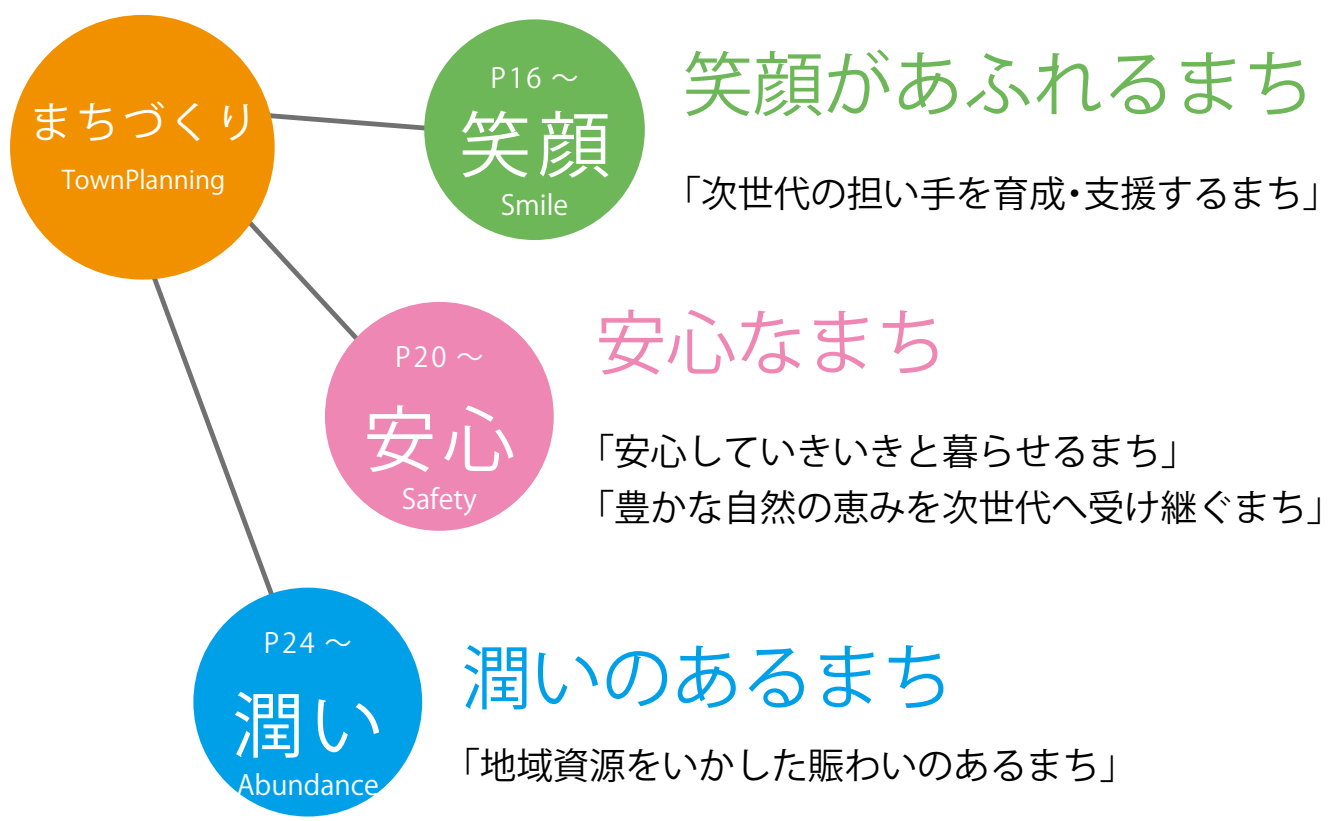
- ※自主財源 市が自ら徴収又は収納できる財源
- ※依存財源 国や県からの交付金等や借入れによる財源

自主財源 41 億 4,922 万 7 千円 (34.9%)		
① 市税	13 億 6,034 万 9 千円	11.4%
市民税・固定資産税・入湯税・たばこ税・軽自動車税		
② 諸収入	2 億 8,279 万円	2.4%
市の預金利子や各種貸付金の元利収入など		
③ 繰越金	1 億 2,000 万円	1.0%
前年度から繰り越されたお金		
④ 使用料・負担金等	1 億 2,979 万 9 千円	1.1%
市営住宅の家賃や保育所・老人施設の入所負担金など		
⑤ 寄附金	11 億 5,300 万 2 千円	9.7%
ふるさと応援寄附金など		
⑥ 繰入金等	11 億 328 万 7 千円	9.3%
基金や特別会計などから繰り入れたお金など		

依存財源 77 億 3,741 万 2 千円 (65.1%)		
⑦ 地方交付税	39 億 8,670 万円	33.5%
一定の基準により国から交付されたお金		
⑧ 国庫支出金	14 億 7,234 万円	12.4%
市の特定事業に対して、国から交付されたお金		
⑨ 県支出金	9 億 8,520 万円	8.3%
市の特定事業に対して、県から交付されたお金		
⑩ 市債	8 億 7,170 万円	7.3%
市が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金		
⑪ 地方消費税交付金	3 億円	2.5%
地方消費税の一部を、人口等で按分されて国から交付されたお金		
⑫ 地方譲与税等	1 億 2,147 万 2 千円	1.1%
国税として徴収され、そのまま国から市へ与えられた税金など		



市民の皆様が「安心安全で住んでよかったと思えるまちづくり」を実感できるように3つのまちづくりの目標を定めました。



令和5年第2回垂水市議会定例会では、令和5年度施政方針と予算について活発な議論が交わされたのち、議決（承認）をいただきました。ご理解をいただきました市議会議員の皆様、ありがとうございました。

※今回の特集は、入稿日が議会の閉会前だったため、5月に開催された施政方針記者会見の資料をもとに作成致しました。議決の結果は反映しておりません。ご了承ください。



※議会結果はこちらから



アクセルを踏み込む

“キックオフ予算”

理念
垂水市の発展
市民の幸福

姿勢
対話を重視
積極的な情報発信
国・県・近隣市町村連携

私は、本年1月に行われました、市長選挙におきまして、多くの市民の皆様からの温かいご支援とご負託を賜り、第18代目の垂水市長として再び、市政を担わせていただくこととなりました。平成23年1月の初当選から、3期12年が経過いたしました。

これまでの12年間、私は、「**垂水市の発展**」と「**市民の皆様**の**幸福**」の実現を、政治理念に掲げ、日々、「**元氣な垂水市をつくる**」という強い信念のもと、「市民の皆様の声に耳を傾け、**対話を重**

視していく姿勢」、「市民と行政との情報共有のための**積極的な情報発信**と説明責任を果たしていく姿勢」、「**国、県及び近隣市町村との連携・協力関係を最大限活用した市政運営に取り組む姿勢**」を示し、これまで培った国や県とのパイプや人脈いかながら、元氣な垂水づくりに全力を尽くしてまいりました。引き続き、「安心安全で住んでよかったと思えるまちづくり」を市民の皆様に実感していただけるよう、まちの将来像とする第5次垂水市総合計画の「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち 垂水」の実現に向け、市政の発展のため全身全霊で取り組む所存でございます。

セルを踏み込む「キックオフ予算」と考えています。事業がもたらす成果に重点をおいて、予算の質を高めることで、財政運営の健全化を図りつつ、地域のデジタル化や物価高騰への対応などを掲げた国の動向を踏まえ、また、本市が抱える社会的課題を解決するため、子育て支援や高齢者対策、市民の安心安全に係るインフラ整備、産業振興・経済活性化等に関連する事業を優先して編成いたしました。



新規

小中学校の給食費無償化

2,646 万 1 千円【教育総務課】

今般の社会情勢における物価高騰の影響を受けている子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、地域の豊かな食材の活用や栄養バランスのとれた「安全・安心な学校給食」を提供することで、本市の子どもたちの健康や、心身の健全な発達を促進します。

- 令和 5 年度 2 学期から市内小中学校の給食費無償化
- 令和 6 年度以降 継続的な無償化

給食費の動き

- ▼ 令和 4 年度 事業費：741 万 8 千円
コロナ禍における急激な物価高を受け、給食の原材料費も値上がりしている状況であったことから地方創生臨時交付金を活用し値上げを行わないために要する経費を支援を行う。
- ▼ 令和 5 年度 事業費：102 万 4 千円
国からの支援はないが引き続き、保護者の負担軽減の観点で物価高騰対策として一般財源により 1 学期まで事業を継続する。



笑顔あふれるまち

子どもからお年寄りまで笑顔がつづくまちづくり

本市にとって宝である子どもたちの、心身の健全な育成を図るべく、『妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援』の実現に向けて取り組んでいます。また、グラウンドゴルフ場の整備等を通じ、世代をこえ、多くの人が楽しめる環境づくりを行ってまいります。

その他にも、市民の皆さまの笑顔が増えるような施策に取り組んでいます。

拡充

GIGA スクールを活用した
教育の拡充 835 万 3 千円【学校教育課】

従来の事業展開に加え、中学校での漁業体験や沢登り体験等の「総合的な学習の時間」における体験学習とプログラミング教育とを組み合わせ、豊かな自然、観光資源、特色ある産業等、ふるさと垂水の良さを、全世界に発信する活動を行うことで、子ども達の、多様な表現力の向上を目指します。

垂水市小学校と垂水中央中学校が、「リーディング DX スクール事業」（文部科学省）の指定校として採択されました。この事業を通して、効果的な教育実践の創出とモデル化を目指していきます。



▲詳しくは
HP から



新規

子ども医療費無償化・窓口
負担ゼロ

【福祉課】

子どもの健康の保持増進を図るため 18 歳までの子どもの医療機関等における窓口負担をなくす現物給付方式の導入を検討します。



新規

牛根地区の
グラウンドゴルフ場整備

地域の活性化等を図るため、牛根中学校跡地を活用したグラウンドゴルフ場の整備を行ってまいります。また、中央地区においても整備を検討します。



Smile

笑顔

があふれるまち

かごしま国体 選手が実力を十二分に発揮できる環境を整え、安全・安心を心がけたより良い大会運営に努めるとともに、垂水市の食の魅力などの情報発信により、地域経済の活性化に寄与する大会が開催できるよう取り組んでまいります。

進住宅の管理を行いつつ、地元ボランティアと協力した日本語教室の開催や、雇用企業向けの説明会・交流会の企画・運営といった外国人の皆様と市民の皆様の橋渡しを行う、「多文化共生まちづくりコーディネーター」を設置し、共生社会の地域づくりを行っていただくための仕組みづくりを構築してまいります。

また、新たに、インドネシア語とミャンマー語表記によるごみ分別表を作成します。

外国人との共生

新たに地域おこし協力隊を配置し、外国人技能実習生等の皆様がお住まいの錦江町定住促進

DX 関連

デジタルの力を活用した住民サービスの向上を図るため、役所においても、デジタル技術や、AI等の活用による業務効率化に取り組むための人材の育成が必要となってまいります。令和5年度は、役所各課より、若手職員を選抜して配置したプロジェクトチームとしてDX推進部会を設置し、先進事例の調査・研究等を行ってまいります。

芸術文化振興

優れた芸術文化に触れる機会を提供し、心豊かな生活および活力ある地域社会の実現と文化芸術の振興を目的に自主文化事業を展開してまいります。

拡充 たるみず元気プロジェクト

1,027万4千円【保健課】

平成29年度から取り組んでいる『たるみず元気プロジェクト』を、令和5年度からさらに拡充し、新たに市民の皆様からご要望が多かった「聴力検査」を設けます。

また、さらなる新規参加者の増加を促すため、参加特典等を工夫し、市民の皆様の健康維持・増進と健康長寿を推進します。

昨年度は、554人の市民の皆様が参加され、満足度は99.3%と高い評価をいただきました。今年度も多くの皆様の参加をお待ちしております。



▲詳しくは
HPから

対象 **40歳以上の垂水市民（無料）**

※検査には、10m歩行などの軽微な運動があります。

日程 令和5年（全11回）
7月2日（日）～12月10日（日）

受付時間／8時15分～10時30分までの15分おき

会場 **市民館** ※例年は、文化会館や体育館でも開催しておりますが、本年度は市民館のみとなりますので、お間違いにご注意ください。



専門の学会で高評価獲得

「たるみず元気プロジェクト・健康チェック」が、第59回日本循環器病予防学会学術集会（主催：日本循環器病予防学会）で「第19回日本心臓財団小林太刀夫賞」を受賞いたしました。

※詳しくは、P6をご覧ください。



平成29年度から取り組んでいる「たるみず元気プロジェクト」は、専門の学会からも高く評価されており、注目度の高い事業です。

また、生活の根幹を支えるインフラ整備につぎましては、道水路の整備をはじめ、長寿命化事業の橋梁補修工事やトンネル等の点検を実施してまいります。

その他にも、市民の皆様が安心して生活できるような施策に取り組んでまいります。

安心安全なまちづくり

安心なまち

継続

公園施設長寿命化事業

3,000 万円【土木課】

市内にある公園の遊具等が老朽化しているため、計画に沿って、子どもたちが安心して遊べるように撤去・新設し、子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。

公園リニューアルのプロセス



子どもたちにアンケートを実施して遊具を決めます。



老朽化した遊具を撤去し、新しい遊具を整備します。



新しい遊具の完成！安心して遊べるようになりました。

新規

中央地区の雨水・排水対策

884 万 2 千円【土木課】

豪雨時の冠水軽減のための側溝改修工事を行います。

- 令和 5 年度
各地区ごとの調査と全体計画の作成



新規

消防団第 1 分団詰所の整備

【消防本部】

拠点となる庁舎を整備し、災害への対応力を強化します。

- 令和 5 年度 建設地の選定等



Safety

安心 なまち

要配慮者個別支援 近年の大規模災害等により、行政による防災対策に加え、住民主体の防災対策強化も求められています。本事業では、防災の専門家が地域に入り、地区防災計画の作成や危険個所の把握、避難行動時に支援が必要の方の個別計画作成を地域と一緒に進めます。「自身の安全は自分で守る」「自助」「地域の安全は地域が共同して守る」「互助」が防災の要となります。本事業により、地域防災力の向上を図ってまいります。

消防デジタル無線 消防救急デジタル無線システムについては、整備されてから 10 年が経過しており、発売元であるメーカーのサポートも終了しているため、最新機器へと更新することで、迅速かつ正確な消防・救急活動に取り組んでまいります。

有害鳥獣対策 有害鳥獣の捕獲につきましては、猟友会の皆様のご協力がないと可及でありますことから、猟友会確保のための狩猟免許の取得費用や、年会費等を支援してまいります。令和 5 年度は、狩猟免許の更新費用や必要となる箱罠等を購入して貸出するなど、さらなる鳥獣被害防止対策に取り組んでまいります。

農道等の整備 農用地、水路、農道等の農業用施設の保全・維持管理のため、整備工事費や、重機借り上げ料を計上しております。また、引き続き、地域活動支援のための各種交付金などで、営農活動を支援するとともに、環境整備班による車両の通行安全確保や除草作業など、きめ細やかな維持管理を行ってまいります。

新規

子育て世代のテレワーク育成と子連れオフィスの整備

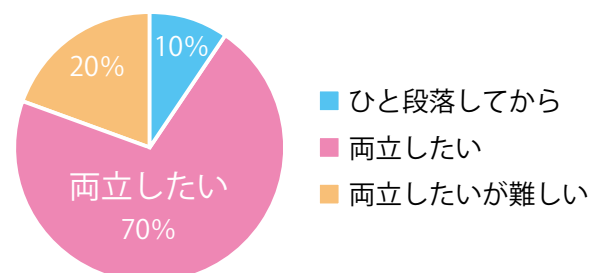
135万3千円【企画政策課】

子育てと仕事の両立を支援し、子育て世代の方々のニーズに対応すべく、WEBマーケティング分野のテレワーカーとして自立できるよう育成講座等を開設し、子育て世代の方々のワークライフバランスを推進します。

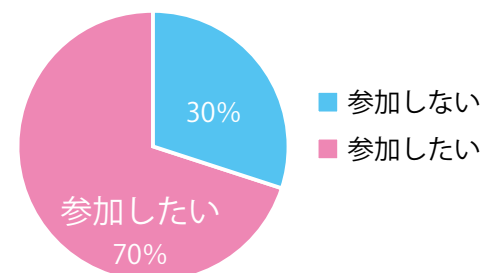
アンケート調査

20代～40代の子育て世帯の皆さんを対象に、アンケート調査を実施しました。
(令和3年広報たるみず11月号より)

Q1 子育てがひと段落したら、働きたいですか？
子育てと両立して働きたいですか？



Q2 テレワークに必要なスキルアップの機会があれば、参加してみたいですか？



● 令和5年度 導入ワークショップ・育成講座の開催 子連れオフィス整備の検討

▼ 先進地の様子



新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続いておりますが、垂水市の各地で以前の日常が戻ってきており、賑わいをみせています。
垂水市では引き続き、特産品の販路拡大事業等に取り組みとともに、新しく、子育て世代がテレワーカーとして自立できるような事業に取り組みでまいります。
その他にも、地域経済の発展のため地域資源をいかした施策に取り組んでまいります。

潤いのあるまち

地域資源をいかした潤いのあるまちづくり

POINT

継続

県営漁港整備事業

総事業費 6 億 2,200 万円

負担金 9,350 万円【水産商工観光課】

漁業の効率化、漁民・住民の命を守るため、防波堤、岸壁、護岸、陸こう、浮桟橋等を整備します。

● 令和 5 年度 岸壁・浮桟橋（牛根麓漁港）

護岸（海潟漁港海岸・境漁港海岸）

※長期的な建設計画のため、完成は令和 10 年度と見込まれています。



▲ 牛根麓漁港の設計図



▲ 浮桟橋の整備現場（図の①）



▲ 岸壁の整備現場（図の②）

POINT

継続

特産品販路拡大支援事業

407 万円【水産商工観光課】

販路拡大の支援、PR 活動の充実のため、包括連携協定に基づいた JAL および博多大丸と連携した販路拡大支援事業の取り組みを推進します。



POINT

新規

鹿児島女子短期大学との 連携支援事業

348 万 3 千円
【企画政策課】

包括連携協定に基づき、地域資源をいかした関係人口の創出、地域の活性化等の取り組みを推進します。



Abundance

潤い

のあるまち

術向上に向けた支援を行ってまいります。

農業振興

新規就農者支援については、経営が不安定な就農初期段階から支援を行い、新規就農者が農業に専念できる環境を整備し、新規就農者の確保と 6 次産業化に係る設備等導入補助など、ソフト・ハード両面から支援すること、就農者の意欲向上、営農定着、後継者育成を推進してまいります。また、高育種価の繁殖雌牛を、保留または導入する経費に対して助成を行うことで、優良な繁殖雌牛を垂水市内に残し、生産農家の経営基盤の安定化に向けた支援を行ってまいります。

水産業振興

新たな生活様式による消費動向を的確に把握し、販路拡大に繋がる取り組みの支援に努め、商品づくりや PR 活動の充実と、施設整備等の支援による 6 次産業化の推進を行ってまいります。また、国内外のマーケットニーズを的確に捉えた、安全安心な養殖魚の安定供給を見据え、カンパチ・ブリにおける人工種苗の購入と、技

商工業振興

電力・ガス・食料品等の価格高騰による景気低迷の回復および地域経済の活性化を目的として、垂水市商工会と連携を図り、プレミアム付き商品券を発行いたします。また、「ふれあいフェスタ夏祭り」につきましては、令和 5 年度は、通常規模に戻して開催し、市内外の来場者にお楽しみいただきたいと考えております。